

令和5年度 第66回 関東高校サッカー大会県予選 大会総評

報告者：高体連技術部員 南稜高校 横山晃一

1 大会概要

4月15日から30日にかけて令和5年度関東高校サッカー大会埼玉県予選が開催された。この大会は1月から2月にかけて行われた新人大会各支部予選を勝ち上がった24チームに、昨年度の全国高校サッカー選手権大会埼玉県予選でベスト8まで勝ち残ったチームを合わせた計29チーム（※）によるトーナメント方式で実施された。（※昌平高校、西武台高校、埼玉栄高校が不参加となっているので $23 + 6 = 29$ チーム）

優勝は武南高校、準優勝に埼玉平成高校、3位に浦和東高校と成徳深谷高校という結果であった。

2 大会傾向

4月より開幕しているリーグ戦を前後に挟んだなかで行われる大会のため、メンバーを柔軟に起用して個々人に経験を積ませながらチームとしての戦い方の引き出しを増やしていこうとする意向の感じられる試合が多かった。

新人戦において課題として挙げられていた攻撃の連携部分においては、上位に勝ち進んだチームほど随所に狙いをもったプレーが見られ、今後を期待させる要素であった。

守備の局面では、組織的守備はチームとしてよく構築されていた反面、中盤における個人の守備強度と、相手の瞬間的な即興性に対応する目（戦術眼）を持った選手が少ないように感じた。

セットプレーについては、精度の高いキックやロングスローを使った迫力ある攻撃が見られた。新人戦ではセットプレーの守備面で課題のあるチームが多かったが、今大会では上位進出校ほど、しっかりとした準備をしていて、相手選手を容易にフリーの状態にしてしまったり、こぼれ球を簡単に押し込まれるシーンは無かった。また、セットプレーに限らず、DFと連携しながらボールに対して積極的にチャレンジできる守備範囲の広いGKが多かった。

3 関東大会進出2チーム分析

優勝した武南高校の基本的な布陣は1-4-4-2。現時点で県内トップレベルの技術をもっており、今大会では多くの時間帯でボールを保持しながらゲームを支配した。2ボランチが機転の利いたポジションをとりながら、後方からしっかりと組み立てていき、サイドや後方からタイミングよく相手のライン間にボールを差し込んでいく。このボールをスイッチとして連携プレーで最終ラインの突破を図ったり、MF⑩松原の個人技を活かしたプレーで相手マークのずれを生じさせてゴールを脅かす。攻撃時の距離間が近いので、どの試合でも素早い切り替えからの奪い返しの場面が多くみられた。相手陣地に押し込んだ場面での後方の準備もよく、準決勝の浦和東高校戦では、カウンター狙いで残っている相手2トップに入ってくるボールに対して、適切な処理をしていた。新人戦では1-4-2-3-1のシステムであったことから、可変的に戦うこともできる。また、選手層が厚いので、相手や試合状況に応じて柔軟な対応ができていた。決勝の

埼玉平成高校戦でも後半にメンバー変更とポジション変更をしながら相手を揺さぶったことが功を奏した。

準優勝となった埼玉平成高校は、1-4-3-3の布陣が基本となる。ここ数シーズンを通して貫いてきた戦い方であるが、個人のスキルと戦術理解度にさらに磨きがかかっていた。ゴールキックはペナルティエリア付近の選手にショートパスをつけて、後方から相手を崩していくスタイルである。ボール保持時にアンカーが絶妙なポジションをとり、相手FWのプレスを幾度となくいなしていた。GKと2人のCB、アンカーの4人で安定感を作り出して、SBはハイポジションをとって相手最終ラインに4人配置するような陣形となる。そこから3トップがタイミングよく降りてきてボールを引き出す。準決勝の成徳深谷高校のゴールはロングボール1本で抜け出していたのゴールであったが、複数の選手が絡んでポジションチェンジをして、相手のマークをずらして背後をついたチームとしての意図的で見事なゴールであった。決勝の武南高校戦でも終盤こそ運動量などフィジカル、スタミナの部分で差がついてしまったが、ポゼッション部分では堂々と渡り合っており、今後が楽しみなチームである。

4 おわりに

今大会において優勝した武南高校は新人戦に続き埼玉県2冠を達成した。また、関東大会は3年連続の出場となる。昨年度は第2代表として臨み、2回戦で前橋育英に敗れている。今回は埼玉県の第1代表としての堂々とした戦いぶりを期待したい。

埼玉平成高校は関東大会本戦初出場となる。思い切りのよいプレーと磨いてきたスタイルが現時点でどこまで通用するのか楽しみである。

前回大会では、埼玉県代表の「ゴールを奪う・ゴールを奪わせない」という部分の強度や精度において他都県代表との差が見られた。この観点からも東京で開催される本戦でどこまで戦えるのか、しっかりと分析をして報告をしたい。